

『シェアフル』スキマバイトリサーチ、花粉症についての実態調査を実施

～約半数の方が今年の花粉は近年よりつらいと感じている結果に、さらに家計への負担や仕事でのパフォーマンス低下も～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのスキマバイトアプリ『シェアフル』を提供するシェアフル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：横井 聡）は、『シェアフル』ユーザーを対象に、花粉症に関する実態調査を実施いたしました。

The graphic features a teal background with white and dark teal geometric shapes. At the top, it reads 'スキマバイトリサーチ' (Skimabaito Research) in white. Below that, '花粉症 実態調査' (Hay Fever Real Status Survey) is written in large, bold white characters. A white rounded rectangle contains two bullet points in black text: '・約半数の方が今年の花粉を近年よりつらいと感じている' and '・花粉症による家計の負担や仕事への影響も多くみられた'. At the bottom, the 'シェアフル by PERSOL' logo is displayed in white.

■背景

暖冬の影響により、今年は例年よりやや早いスギ花粉のピークが訪れました。近年における花粉症の増加は、社会経済への影響も大きく、医療費の増大や生産性の低下などの問題を引き起こしています。日本気象協会の発表によると、スギ、ヒノキ花粉の飛散量は、例年に比べると九州から東北のほとんどの地域で、例年並みか例年よりやや多く、北海道ではシラカバ花粉の飛散量が非常に多い見込みであるとされ、ますます花粉症の方には辛い時期となっていると考えます。

そこで『シェアフル』では、花粉症の方の実態を調査すべく、アンケート調査を実施いたしました。

※1 日本気象協会 2024年 春の花粉飛散予測（第3報）～まもなくスギ花粉シーズンスタート ピークは2月下旬から～

<https://www.jwa.or.jp/news/2024/01/22206/>

■調査内容

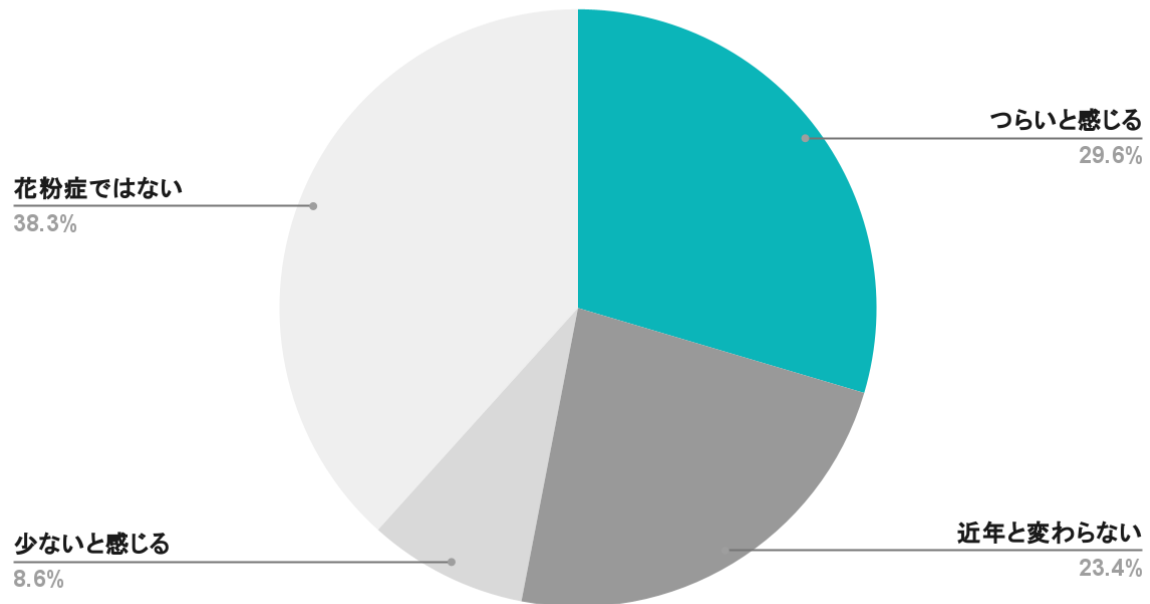
『シェアフル』アプリをインストールしているユーザーを対象に、花粉症にまつわる質問で日本全国の15～80歳の男女向けにアンケートを実施しました。

■サマリー

- ・花粉症の方のうち約半数の方が、近年に比べつらいと感じている
- ・若年層ほど今年の花粉をつらいと感じている
- ・花粉症による出費の家計への負担や、仕事でのパフォーマンス低下も多く見られる

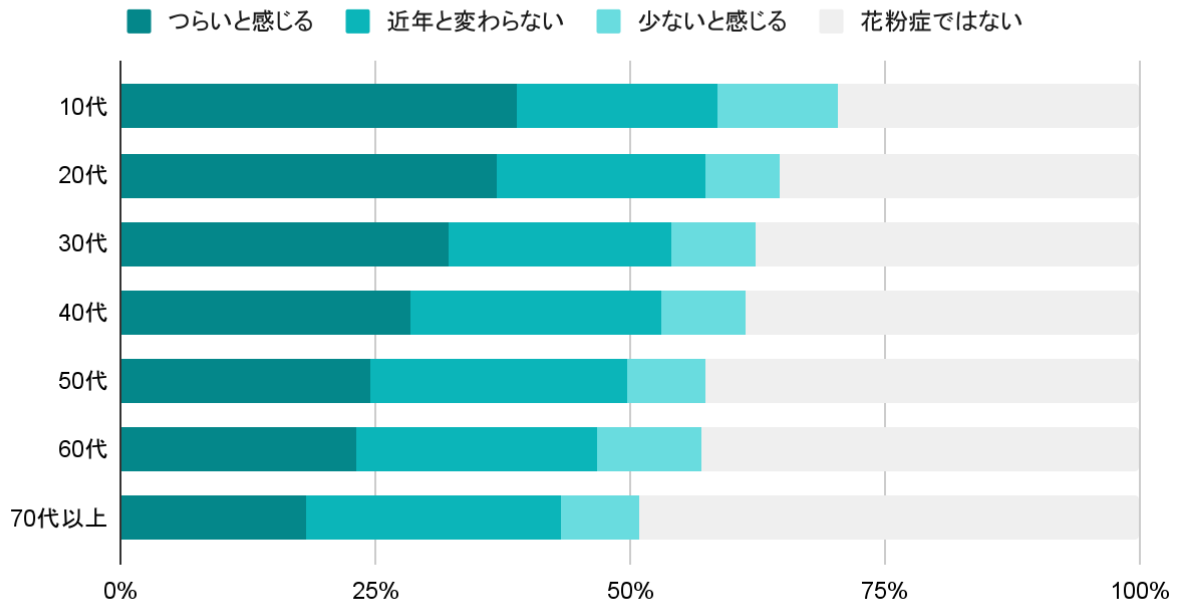
■調査結果

今年の花粉は近年に比べつらいですか？

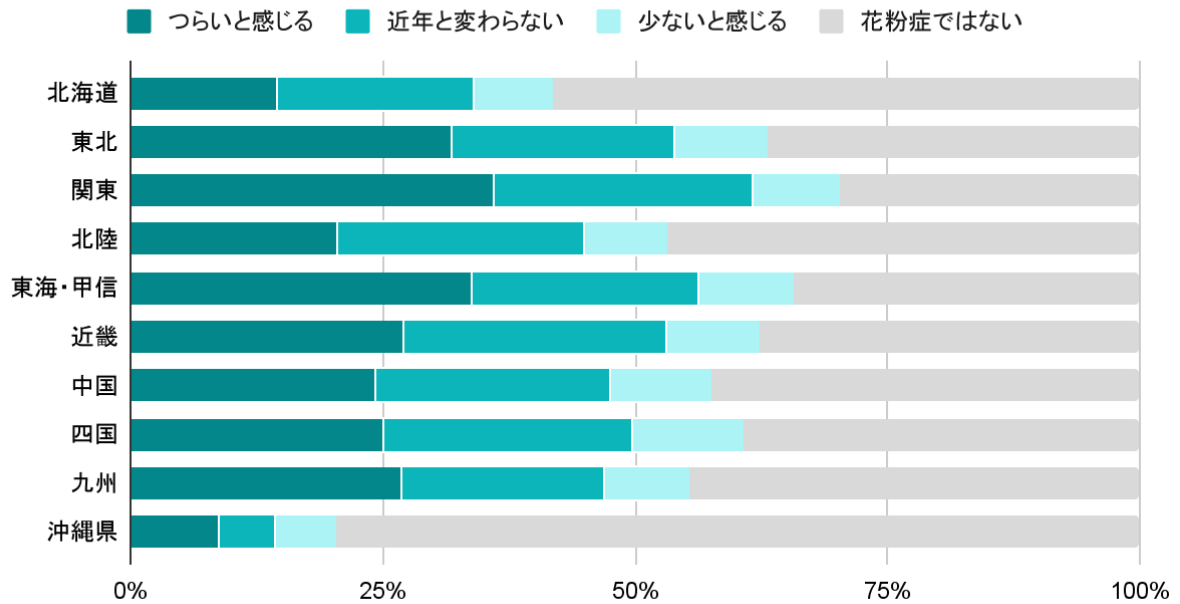


「今年の花粉は近年に比べつらいですか？」のアンケートをとった結果、合計で61.6%の方が花粉症を感じ、花粉症ではないと答えた方が38.3%でした。花粉症の方のうち約半数の方が近年に比べつらいと感じている結果となりました。

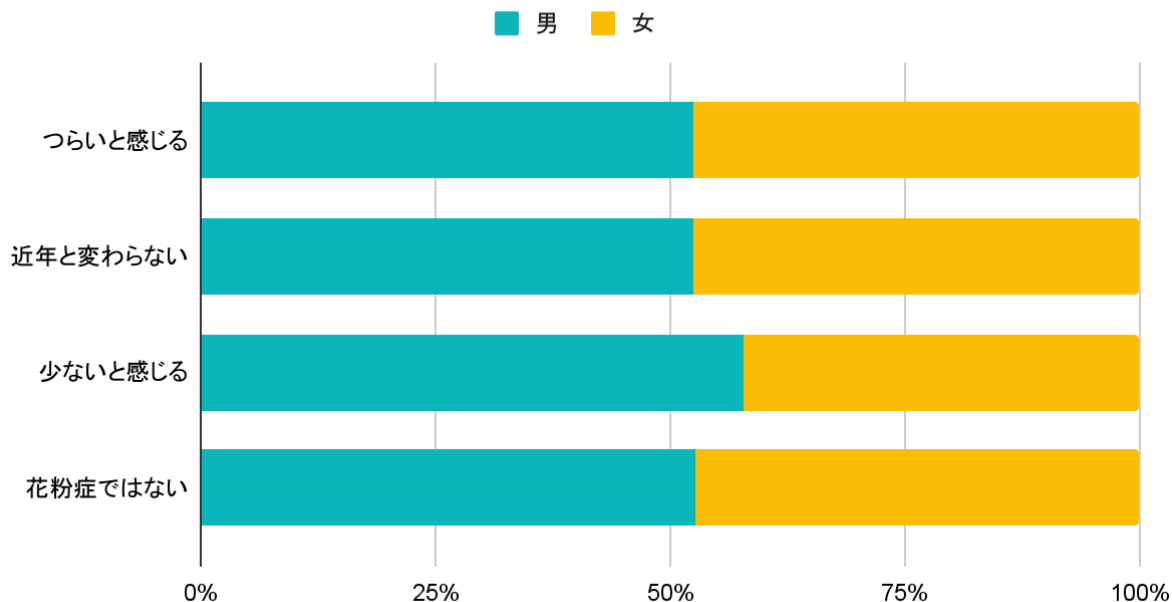
年代別：今年の花粉は近年に比べつらいですか？



地域別：今年の花粉は近年に比べつらいですか？

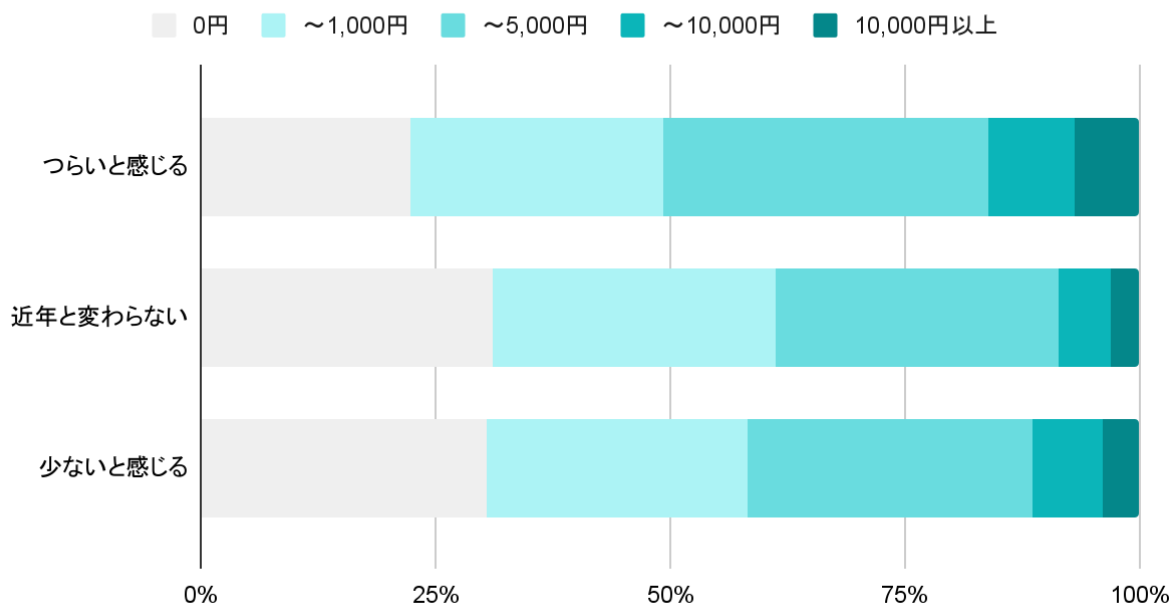


男女別：今年の花粉は近年に比べつらいですか？



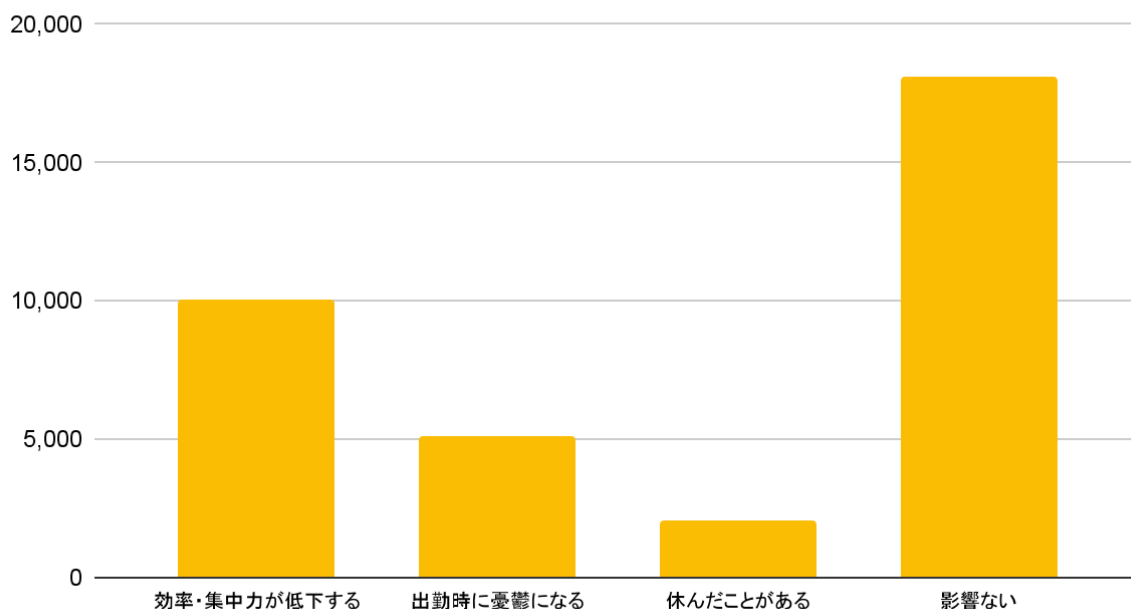
年代別で見ると、10代が一番今年の花粉がつらいと感じている結果で、10代～30代は過半数を超える方が近年よりも花粉をつらいと感じています。若年層ほど今年の花粉をつらいと感じており、年代が上がるごとに花粉症ではない方や、近年と変わらないと答える方の割合が多くなっていることがわかります。地域別で見ると、関東近辺で今年の花粉をつらいと感じると回答した割合が多く見られ、一方で沖縄県では80%、北海道では58%の方が花粉症ではないと回答しました。男女別で見るとそれほど差は見られませんでした。

年間で花粉症の対策に費やすお金はどれぐらいですか？



また、年間で花粉症の対策に費やすお金についての質問では、花粉の症状があっても約20%の方は対策にお金をかけていないということがわかりました。0～5,000円の範囲で花粉症対策をする方が全体の半数程度見受けられます。

花粉症により仕事に影響が出たことはありますか？（複数回答可）



花粉症による仕事の影響が出ている方の中では、効率・集中力が低下するが最も多い結果でした。出勤時に憂鬱になる方も多く、中には休んだことがある方も一定数いることがわかりました。

■考察

今回の調査で、花粉症の方のうち約半数の方が今年の花粉を近年よりつらいと感じていることがわかりました。また、若年層ほど花粉の症状を感じる方が多く、スギ花粉の若年化は今後さらに進んでいくのではないかと考えられます。都道府県別で見ると沖縄県、北海道では、花粉症ではない方が全体の半数以上という結果になりました。沖縄県、北海道ではスギの木が少なく、ほか都道府県とも離れていることなどから花粉の症状がないのではないかと考えられます。

また、花粉症による出費の家計への負担や、仕事でのパフォーマンスの低下も多く見られたことから、今後花粉症による社会の福利厚生制度が一般化することも現実的であると考えられます。

【調査について】

シェアフルユーザーを対象にしたWeb調査

「今年の花粉は近年に比べつらいですか？」

調査対象：日本全国の15～80歳の男女

実施時期：2024年3月12日(火)

有効回収数：32,864サンプル

「年間で花粉症の対策に費やすお金はどれくらいですか？」

調査対象：日本全国の15～80歳の男女

実施時期：2024年3月12日(火)

有効回収数：33,374サンプル

「年間で花粉症の対策に費やすお金はどれくらいですか？」

調査対象：日本全国の15～80歳の男女

実施時期：2024年3月12日(火)

有効回収数：33,443サンプル

【運営サービス】

■『シェアフル』について < <https://sharefull.com/> >

『シェアフル』は、「スキマ時間を価値に変える」を掲げ、「スキマ時間にはたらきたい個人」と「この日・この時間だけはたらいて欲しい企業」をつなぐ短期人材活用プラットフォームです。個人は、アプリからはたらきたい条件の求人を探し、面接や履歴書なしですぐに応募・就業することができます。企業は、Webから即時に1日単位で求人掲載できるので、すぐに人材を採用することが可能です。また、就業条件明示・勤怠管理・給与計算・給与振込代行など労務関連業務を『シェアフル』上で一元管理することができます。現在、アプリダウンロード数が5,500,000件を突破（2024年3月現在）。販売系や軽作業系をはじめとし、ExcelやPowerPoint等、オフィスワークで利用できるスキルを保持しているなど、多様な就業経験とスキルを持ち合わせたユーザーが多数登録しています。

■SaaS型シフト管理サービス『Sync Up』について < <https://www.sync-up.jp/> >

『Sync Up』は、飲食、小売、物流をはじめとしたサービス系企業を対象に、アルバイトスタッフからのシフト希望収集、シフト作成、複数店舗間のヘルプ調整が可能なSaaS型シフト管理サービスです。

人材不足の課題を抱えるお店が増えている中、限られた人数での最適なシフト管理や、シフト表作成の工数削減による業務効率化に貢献します。

【運営会社】

■シェアフル株式会社

シェアフル株式会社は“誰も「はたらく」をひろげ、新しい「はたらく」をつくる”をミッションとし、パーソルホールディングス株式会社のグループ会社として2019年1月に設立した会社です。短期人材活用プラットフォーム『シェアフル』を提供することで、労働シェアリング市場の拡大を目指します。

■PERSOL（パーソル）グループ < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げることで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出する」ことを目指しています。

人材派遣サービス『テンプスタッフ』、転職サービス『doda』、BPOや設計・開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開するほか、新領域における事業の探索・創造にも取り組み、アセスメントリクルーティングプラットフォーム『ミイダス』や、スキマバイトアプリ『シェアフル』などのサービスも提供しています。

はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

